

# 不二速報

静岡： 内線 2790  
E-mail [suu@jade.dti.ne.jp](mailto:suu@jade.dti.ne.jp)  
浜松： 内線 3910  
E-mail [suu-seibu@vcs.wbs.ne.jp](mailto:suu-seibu@vcs.wbs.ne.jp)



発行日 2013年12月3日  
第6号 55歳昇給停止・抑制問題特集号

## 55歳以上 昇給停止？

# 団体交渉継続中！



<大学からの提案>

「55歳を超える教職員は、標準の勤務成績では昇給しない。また、勤務成績が特に良好、極めて良好の場合の昇給号給数を現行より抑制する。」（2014年1月実施予定）

「2006年4月1日の給与構造改革に伴う俸給の切り替え（引き下げ）に伴う経過措置（現給保障制度）を廃止する。」（2014年4月実施予定）

### 次回団体交渉

12月4日（水）  
9:00～10:00  
事務局1階テレビ会議室

到底認められる内容ではありません！  
交渉や説明会に大勢の方の参加を！  
皆さんの力が必要です。

### 55歳以上昇給停止・抑制問題について 全大教よりの情報

55歳での昇給停止・抑制問題に関連して、組合の全国組織である全大教（全国大学高専教職員組合）より、基本的な情報・資料が提供されました。項目が多いため、幾つかの事項に限りますが、お伝えしたいと思います。是非、この問題を考える上で参考にしていただければと思います。

### どのくらい賃金・退職金が減るのでしょうか？

ある大学での試算ですが、基本給は同じですので、基本的には静岡大学でも同様です。

55歳昇給抑制の生涯賃金での影響額（A大学試算より抜粋）

	級、号俸	本給額 円	退職までの影響額 円	退職金への影響額 円	影響額合計 円
55歳教授	5-54	524,400	2,097,000	1,106,000	3,203,000
55歳准教授	4-85	460,000	1,023,000	436,000	1,459,000
55歳係長	4-72	375,600	312,000	357,000	669,000

## 55歳での昇給停止・抑制の合理性・必然性について

### ◆大学は、人事院勧告に従わざるを得ないといいますが、そうでしょうか？

国立大学法人等の教職員は非公務員として労働基本権を有しており、労使自治による賃金・労働条件決定が法的に保障されています。国立大学法人が人事院勧告に準拠しなければならないとする法律は存在しません。独立行政法人通則法第63条において「業務の実績」と「社会一般の情勢に適合」と規定されているだけです。

### ◆大学財政の厳しさが昇給停止・抑制の理由になるのでしょうか？

大学による説明会では、交付金の減少・資産の減少が強調されました。しかし、注意しなければならないことがあります。震災復興を名目としたこの二年間の給与削減措置においては、運営費交付金から減額相当分が差し引かれていました。ですが、この度の件、つまり昇給制度の変更は運営費交付金の増減には関係がありません。したがって、財務面から昇給停止・抑制の直接的な必要性はありません。

言い換えれば、給与をさらに抑制することで生じた余剰を、人件費とは別のところに当てていくということになります。これは、大学というなによりも「人」によって成り立つ教育機関を運営していく上で致命的なことではないでしょうか。

### ◆昇給停止年齢は55歳が「社会一般」的なのでしょうか？

比較の対象として私立大学について見てみましょう。私立大学における大学教員の昇給停止は、多数の大学が65歳昇給停止であり、少数の大学で57歳や60歳での昇給停止があります。55歳昇給停止は極めて少数の大学です。職員についても55歳昇給停止は少数の大学です。したがって、国立大学の55歳昇給停止は私立大学との均衡がありません。なお、九州大学では、大学側が、教員については60歳から昇給抑制を行うと提案しています。

### <資料>首都圏私立大学の昇給停止年齢に関する調査結果

(『2012年度首都圏私大の賃金及び教育・研究・労働条件』東京私大教連より作成)

#### 教員について

データの揃っている39大学を対象とした。

- 昇給停止年齢の定めのない大学は13大学。
- 昇給停止年齢の平均年齢は62.8歳、中央値は64歳、最頻度数は65歳にある。
- 昇給停止から定年までの年数が、6年以上の大学数は14大学あるものの、10年以上の大学数は4大学にすぎない。定年年齢が高いほど昇給停止年齢が高いというような傾向は見られず、その結果、定年年齢が70歳など高い大学が、昇給停止から定年までの年数が長い傾向を作り出していると言える。

#### 職員について

データの揃っている32大学を対象とした。

- 昇給停止年齢の定めのない大学は8大学。
- 昇給停止年齢の平均年齢は59.5歳、中央値は60歳、最頻度数は60歳にある。
- 昇給停止から定年までの年数については、0年と5年の2つの山を持つが、昇給停止年齢の山は明らかに60歳にあり、60歳を超える定年を定めている大学において、昇給停止年齢を60歳に定めている関係で、昇給停止からの年数が長くなる傾向を作り出していると言える。

